

ご挨拶

校長 吉田 敦

北越智の地に初夏の爽やかな風が吹き抜け、校長室には、木々からのウグイスの鳴き声と、教室からの生徒たちの笑い声が、仲の良い友だちどうしの会話のよう

ての学校活動を、ウイルス出現以前の形に戻すだけにとどまらな

に聞こえてきます。
新しい年度を迎え、檀友会委員の皆様におかれましてはお健やかに
かにお過ごしのことと存じます。
本校は今春322名の新入生を迎え入れ、無事令和5年度の活動をスタートさせています。私も、

据えたものに再構築することが必要であると思っています。期せずして、檀原高校は来年度、令和6年度に学校創立50周年を迎えます。この大きな節目に向け、檀高半世紀の歩みに思いをはせるとともに、築かれた伝統をしっかりと受け継ぎながら、未来に続く新しい教育活動を創造することが、我々教職員に課せられた使命と考えます。あらためて、教職員一同、心を一つにして、一人一人の生徒に寄り添い、日々の教育活動に邁進する所存です。

頂くこととなり、大きな喜びを感じながら心を新たにしてい日々の業務に取り組んでいます。昨年度同様、皆様のご指導とご鞭撻を何卒よろしくお願いいたします。

最後にになりましたが、檀友会のみならずのご発展と会員の皆様のご健康をお祈りするとともに、変わらぬ本校へのご支援をお願いして私のご挨拶いたします。

さて、3年以上にわたり猛威をふるった新型コロナウイルスの感染状況については、ようやく収束の気配を見せ始めています。学校現場としましては、気を緩めることなく引き続き適切な対応を続けていきたいと考えています。が、一方で、この3年間の悪戦苦闘の経験をこれからの教育活動にどう生かしていくかが問われてくるであろうと思われま

す。抽象的な表現にはなってしまうが、中止や縮小を余儀なくされた諸行事をはじめとするすべ